



神奈川大学フロンティアクラブ会報

発行日 2004年6月30日
編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ
組織・広報委員会
事務局 神奈川大学内
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL.045-481-5661(代)
FAX.045-491-7915

第 10 号



平成一六年度の神奈川大学フロンティアクラブ(KUFC)総会が、二月二十八日(土)午後四時から一号館三〇八会議室で開催された。

奨学金の募集、入試・就職活動、産官学協同の支援などの事業を行っている。総会は、神尾秀雄代表の挨拶、来賓として出席した学校法人神奈川大学大野泰理理事長、神奈川大学山火正則学長の挨拶のあと、議事に入り、平成一五年度事業・決算報告、平成一六年度事業計画(案)、予算(案)について

神尾代表は、「経済状況が厳しいなかではあります。母校の発展に向けて強力な支援をしていきたい」と挨拶された。来賓の大野理事長は、これまでの本学の財政の安定化など経営基盤の確立の経緯や、平成一六年度四月に開設する神奈川大学

「経済状況が厳しいなかではあります。母校の発展に向けて強力な支援をしていきたい」と挨拶された。来賓の大野理事長は、これまでの本学の財政の安定化など経営基盤の確立の経緯や、平成一六年度四月に開設する神奈川大学

奨学金等協力活動
奨学金等による学生支援(村橋・フロンティア奨学金)
村橋・フロンティア奨学生との交流会の開催
募金状況のお知らせ

奨学金等による学生支援(村橋・フロンティア奨学金)
村橋・フロンティア奨学生との交流会の開催
募金状況のお知らせ



平成一六年度フロンティアクラブ総会開催
事業計画・予算(案)承認される

クステンションセンターについてなど、新たな法人としての事業、政策について挨拶された。また、山火正則学長は、平成一五年度の教育・研究面でCOEプログラムの採択や法科大学院の開設認可などについて報告された。

奨学金等協力活動
奨学金等による学生支援(村橋・フロンティア奨学金)
村橋・フロンティア奨学生との交流会の開催
募金状況のお知らせ

奨学金等による学生支援(村橋・フロンティア奨学金)
村橋・フロンティア奨学生との交流会の開催
募金状況のお知らせ

会員だより



第二段階に入った
「フロンティアクラブ産学交流サロン」

産官学共同委員長 柳 沢 剛 (37工卒)

とはフロンティアクラブの定例的な事業として定着しつつあるものと考えている。この四月に横浜みなとみらいのクイーンズタワーA棟の四階に「KUポートスクエア」として、エクステンションセンターを開設した。誠に意欲的な事業であり社会人のキャリアアップや各種の資格取得のための講座として充実し、そして、横浜みなとみらいという横浜で最も輝いている街の中で行われるというところで大いに注目されると同時に大学の社会貢献として高い評価を受けているようである。

「世界は街、日本の街」高橋志保彦工学部教授
第21回 9/8(水)
18:00~20:00
「外資小売業は日本で成功するか」
中田信哉経済学部教授

「住みよい街の風情」
第20回 7/14(水)
18:00~20:00

「世界は街、日本の街」高橋志保彦工学部教授
第21回 9/8(水)
18:00~20:00
「外資小売業は日本で成功するか」
中田信哉経済学部教授

村橋・フロンティア奨学金
平成一五年度 授与式開催

平成一五年度、村橋・フロンティア奨学金授与式が、昨年一月七日(金)横浜キャンパス一号館三〇八会議室で開催された。今年度も、授与対象学生は、全学部から計一〇名であった。大野泰理理事長の挨拶、フロンティアクラブ代表の神尾秀雄氏の来賓の挨拶のあと、奨学金(四〇万円)採用証、徽章授与が行われ、山火正則学長から選考についての総評があった。これを受けて、奨学生を代表し、工学部応用化学科二年松下裕子さんから、次のような謝辞が述べられた。

私は化学専攻を希望して神奈川大学の応用化学科という恵まれた学習環境に身を置いてきましたが、恥ずかしながら一年前には大学で学ぶ意味を問う余裕すらなく、大学を卒業するという決意を新たにただけでした。と言いますのも、昨年大学入学直後に父が急逝し、以来大きく変わった生活についていくことに精いっぱいだったからです。父を亡くした

続けてきたのは、なんとしても大学を卒業したかったからです。大学進学は私自身が望んで決めたことであり、それに賛同してくれた父も「自分で決めた道を貫きなさい」という言葉を残してくれました。そして何より、この大学に出会えたというserendipityが常々心の支えになっていました。恐らくこれから生涯にわたり助け合い、語り合えるかけがえない友人やパートナーに出会えたこと、敬慕する教授方にご指導、お気遣い頂けること、そしてこのように幾度となく経済的御支援頂けたことにはただただ感謝するばかりです。この有難い幸運の数々は私にとってserendipityなのです。ノベル化学賞を受賞された野依博士の言葉として耳にされた方も多々だと思いますが、serendipityは英国の作家Walterによる造語で「求めずして幸運にめぐり合う力」とされています。野依博士は研究の成果がserendipityによるものだとおっしゃっ

たのです。確かに長い研究生活の中で見出した偉大な発見の発端は偶然に過ぎなかったのかもしれませんが、ほんの一瞬の偶然に重大な意味を求めた姿勢こそが大きな飛躍を生んだのです。私が恭敬する科学者Louis Pasteurも言うように「幸運は用意された心のみ宿るもの」だと思います。私自身、今手にした貴重なserendipityを単なる偶然で終わらせたくないというより一層学業に励み、自らの可能性を最大限広げたいと思います。これからは大学で身に付けた知識や技術をどう生かしているか、私の力の及ぶ範囲でできることは何か模索していくつもりです。大学で学ぶことは勿論自身のためですが、いざそれは自分の為だけにできない、願わくば微力でも社会に貢献できることを目標に掲げ、学生生活に励んで参りたいと思います。(奨学生代表工学部応用化学科二年 松下 裕子)



神奈川大学エクステンションセンター「KUポートスクエア」開設

二〇〇四年四月、神奈川大学エクステンションセンター「KUポートスクエア」が、みなとみらい地区のクイーンズタワーA棟一四階に開設された。開設にさきだつて、三月二十七日(土)に開設記念講演会・祝賀会が同棟五階、六階を会場に開催された。

開設記念講演会は、一〇時三〇分から一二時四五分まで、本学が昨年度採択されたCOE

Eプログラムの研究拠点リーダーである福田アジオ歴史民俗資料科学研究科教授による「民俗学と日本人」と、本学の全国高校生俳句大賞の選者である俳人の宇多喜代子氏の「俳句と日本文化」という演題で、約二〇〇人の聴衆を前に行われた。これらの講演は、ともに日本人、日本文化と生活、民俗と歴史に関わる興味深い内容であった。

このあと、KUポートスクエア開設祝賀会が開催された。出席者は、神奈川県、横浜市、県内大学関係者、県内企業、新聞社、専門学校、フロンティアクラブ会員をはじめ、本学関係者など約一五〇名であった。祝賀会では、最初に学校法人を代表して、大野泰理理事長が本学創立以来の一働く者のため「の学校」という伝統と、日本社会の経済状況が厳しさを増すなかでの「リカレント教育」の重要性など、エクステンションセンター開設の目的について挨拶された。

続いて、元横浜市助役で現財団法人横浜市埠頭公社理事長の岡本坦氏から、国際港都・横浜にふさわしいエクステンションセンター開設という画期的事業について祝辞が述べられた。山火正則学長からは、「開かれた大学」としてのエクステンション機能の拡充という大学の社会的使命についての挨拶とともに乾杯が行われ、盛況な祝賀会と

平成一六年度の神奈川大学フロンティアクラブ総会が開催され、その中で平成一五年度事業・決算報告、平成一六年度事業計画(案)、予算(案)について審議し、了承された。それぞれの報告は以下のとおり。

平成一五年度事業報告

月 日	行 事
平成15年	
1月22日(水)	・フロンティアサロン (第12回) 講師 理学部 森和亮教授
2月22日(土)	平成15年度総会開催
4月23日(水)	入試・就職委員会打ち合わせ
4月21日(月)	産官学協同委員会打ち合わせ ・フロンティアサロン (第13回) 講師 工学部 堀野定雄助教
4月28日(月)	年会費自動引き落とし開始
5月17日(土)	吉盛忌 (生花一基)
5月30日(金)	会報『KUF C』(第9号) 発行
6月6日(金)	組織・広報委員会打ち合わせ
6月25日(水)	産官学協同委員会打ち合わせ ・フロンティアサロン (第14回) 講師 経済学部 田中弘教授
6月25日(水)	奨学金等協力委員会打ち合わせ
7月29日(火)	『フロンティアクラブ会員交流会』開催
7月31日(木)	ゴルフコンペ開催 (平塚富士見カントリークラブ)
9月18日(木)	・フロンティアサロン (第15回) 講師 工学部 山本俊雄助教
9月24日(水)	奨学金等協力委員会打ち合わせ
10月15日(土)	第9回ホームカミングデー (協賛品提供)
10月19日(日)	奨学金等協力委員会打ち合わせ
10月25日(土)	『村橋・フロンティア奨学金』授与式
11月7日(金)	『村橋・フロンティア奨学生との交流会』開催
11月17日(月)	・フロンティアサロン (第16回) 講師 経済学部 中野宏一教授
11月19日(水)	「村橋・フロンティア奨学金」募金依頼発送
12月10日(水)	

平成一六年度事業計画

フロンティアクラブ

- 一、クラブの運営事業
- (1)総会の開催
- (2)世話人会の開催、各「委員会」の開催(随時)
- (3)会員相互の交流促進・親睦会活動

- 二、事業計画
- (1)組織・広報活動
- ・会報の発行
- ・会員拡大を目標に新規加入者を確保すべく勧誘活動を展開
- ・ホームページの内容充実
- ・大学発行資料送付等の日常広報活動



- ・各委員会との連携による活動の充実
- (2)奨学金等協力活動
- ・奨学金等による学生支援(村橋・フロンティア奨学金)
- ・村橋・フロンティア奨学生との交流会の開催
- ・募金状況のお知らせ
- ・広報・組織委員会と連携による募金協力依頼
- (3)入試・就職支援活動
- ・大学、会員の協力を得て学生の就職活動を多面的に支援
- (4)産官学協同活動
- ・フロンティアサロンの開催
- ・メールマガジンの発行
- ・会員交流会の開催
- ・委員会委員の拡充

組織広報委員会

- 一、フロンティアクラブ会報発行
- 二、年会費自動引き落としの手続き率UP
- 三、会員拡大(DMの送付、勧誘・紹介活動等)
- 四、フロンティアクラブHPの内容充実



奨学金等協力委員会

- 一、奨学金等による学生支援「村橋・フロンティア奨学金」の募金協力依頼(年二回)
- ・広報・組織委員会とのタイアップにより組織の強化と募金活動の呼びかけを行う
- 二、村橋・フロンティア奨学生との交流会の開催
- ・奨学生と奨学金等協力委員、大学関係者との交流会開催
- 三、募金状況のお知らせ
- ・募金の進捗状況、奨学金寄付者・採用者の一覧、奨学金採用者の状況をお知らせ(会報・ホームページ等)

KUポートスクエアで産学フロンティアサロン開催 構造改革時代の経営を語る

経営学部 関 口 博正助教授

第一九回「産学フロンティアサロン」(今年度第一回)が、二〇〇四年五月一二日(水)一八時三〇分から二〇時三〇分まで、四月に開設したKUポートスクエアで開催された。参加者は、フロンティアクラブ会員を含めて約三〇人。テーマは、「構造改革時代の経営を探る」で、講師は、本学経営学部関口博正助教授であった。関口先生は、専門は規制産

業の会計で、情報通信審議会専門委員、総務省独立行政法人評価委員会専門委員などを歴任している。講演の概要は、以下の通りである。「構造改革」という様々な局面で用いられる抽象的な概念には、現状のままではシステムが機能不全を起こしかねないと危惧されるためにシステムを再構築したいという期待が込められています。「構造改革時代」とは、

「実践ビジネス英語」、「中国語」、「韓国語」などの語学系「宇宙と生命」、「聖母のルネサンス」ペンをとる女性たちと文字文化」、「ヨーロッパ都市と歴史への旅」、「ライフワーク発見法」などの文化・教養講座が開催を予定している。また、他に開講までに期間がある講座については、受講を受付中である。

KUポートスクエアは、地域社会、企業、学生、卒業生、他大学生、行政、本学関係者に支えられ、これから大きく広がっていくことが期待される。

今回は、高橋志保彦工学部教授の「住みよい街の風情」世界の街、日本の街」を七月一四日(水)午後六時から八時までを予定している。